

令和7年度 長崎市立朝日小学校学力向上プラン

令和7年度朝日小学校学校経営全体構想

学校教育目標

磨き 輝き 未来をともに拓く朝日の子の育成

あいさつとびかう げんきな子

最後まで一生懸命がんばる子

人に しんせつ やさしい子

学校スローガン

みんなが主役になれる学校

～ 主体性・自尊感情の育成 ～

◎豊かな心を育む教育実践

- ◆特別支援教育の充実
- ◆道徳教育の深化
- ◆人権教育・平和教育の充実
- ◆生徒指導の充実
- ◆特別活動の充実
- ◆郷土愛を育む教育の充実

◎確かな学力を育む教育実践

- ◆主体的対話的で深い学びの授業
- ◆基礎基本の徹底
- ◆ICT 教育の充実
- ◆読書活動の充実
- ◆家庭教育力向上への支援

◎健やかな体を育む教育実践

- ◆体力づくり
- ◆基本的生活習慣の確立
- ◆安全教育の推進

【学力向上全校目標】

基礎基本の学力を充実させ、主体的に学び豊かに表現する児童の育成（研究主題）

①学力調査平均正答率が全国（県）と同等程度以上。 ②進んで考えを書いたり、伝えあったりできる。

安心して学べる学習環境づくり

- お互いのよさや違いを尊重できる支持的風土の醸成
- 児童のやる気を高める教師の言葉と笑顔
- 学習規律（始業時刻、言葉遣い、学習用具の準備等）の確立
- 整理整頓され、学習に集中できる教室環境づくり

基礎基本の学力を高める取組

- 目標と指導と評価が一体化した授業の構築
- 学習の目的と成果が明確な「めあて」と「まとめ」
- 知識・技能の習熟を図るあさひタイムの活用
- 家庭学習の習慣化（課題の提示、自主学習の奨励）

主体的対話的で深い学びに向けた授業改善

- 校内研修の充実（国語科の授業実践研究）
- 主体的な学びにつながる単元・授業の構築
- 自分の考えを書く場面の設定（一人学び）
- お互いの考えを交流する場面の設定（対話的な学び）

児童の実態

【学習の様子から】

- 学級の人数が少ないため、発言の機会が多くある。積極的に自分の考えを述べることができる児童が多い。
- 「あさひタイム」では、各学年、児童の実態に合わせた取組をしており、基礎基本の学力が充実していることがうかがえる学年が多い。
- △少人数がゆえに、対立する意見が出るのが少なく、考えを交流する際、意見の深まりが難しい。

【全国・県・市学力調査の結果から】

- 学年による学力差が大きい。書くことに課題のある6年国語では、最終問題の無解答率が昨年度12月に実施した学力調査の42.1%から15%まで下がり、粘り強く問題に取り組む姿勢が見られた。
- △4年では、国語科において説明文の読み取りが70.8%（全国76.8%）、6年では、算数科において記述式が26.3%（全国34.9%）と、それぞれ課題がある。